

プラズマ・核融合学会誌

第87巻第9号

2011年9月

小 特 集	核融合プラズマおよびダイバータにおけるタングステン研究の進展と課題	
	1. はじめに	朝倉伸幸 575
	2. トカマク実験におけるタングステンの輸送および制御研究の進展	朝倉伸幸, 仲野友英 577
	3. ITER に向けたタングステン PWI 研究の進展と課題	時谷政行, 上田良夫 591
	4. タングステン不純物輸送モデリングの進展と課題	星野一生 600
	5. ITER ダイバータの製作状況とタングステンダイバータの工学課題	鈴木哲 607
	6. 核融合炉に向けたタングステン制御の研究課題	朝倉伸幸 615
小 特 集	システムコードを用いた磁場閉じ込め方式核融合炉システム設計	
	1. はじめに	小川雄一 620
	2. トカマク核融合炉システム設計	日渡良爾 622
	3. ヘリカル核融合炉システム設計	後藤拓也, 相良明男 628
	4. 核融合炉のシステム設計と経済性解析	日渡良爾 633
	5. おわりに	小川雄一 640
研 究 論 文	ロケットエンジンレーザー着火におけるレーザーアブレーションのシミュレーションコードの開発	古河裕之, 藤田和久, 森谷信一 642
Plasma and Fusion Research 掲載論文アブストラクト	650
インフォメーション	651
	ITER だより ⁽²⁹⁾	
	幅広いアプローチ活動だより ⁽³²⁾	
	【会議報告】第2回原型炉設計プラットホーム会合	
	【人事公募】	
Plasma & Fusion Calendar	657
本 会 記 事	659
	PLASMA2011・第28回年会プログラム概要／第9回核融合エネルギー連合講演会開催のお知らせ	

表紙の絵

ヘリオトロンJにおける、超音速分子ビーム入射 (SMBI) 時の $H\alpha$ 分布計測結果. (a)に示す SMBI ポート前方のシャッターにより、同一入射量での SMBI およびガスパフ状入射が可能である. (b), (c)は各条件での発光分布の時間発展, (d)はその径方向分布である. SMBI 時はビームがより磁気軸方向へと侵入しており、トラス外側で大きい発光強度を得た. また、新しく開発したマイクロ波 AM 反射計により電子密度分布の挙動を調べた. (Kiyofumi MUKAI *et al.*, Plasma and Fusion Research Vol. 6, 1402111 (2011) <http://www.jspf.or.jp/PFR/>)

【複写をされる方へ】本学会は、本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しています。本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けてください。但し、企業等法人による社内利用目的複写については、当該企業等法人が社団法人日本複写権センター(社)学術著作権協会が社内利用目的複写に関する権利を再委託している団体)と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては、その必要はありません(社外頒布用の複写については許諾が必要です)。

権利委託先：一般社団法人学術著作権協会 〒107-0052東京都港区赤坂9-6-41乃木坂ビル 3F Tel: 03-3475-5618 E-mail: info@jaacc.jp

複写以外の許諾(著作物の引用、転載、翻訳等)に関しては、(社)学術著作権協会に委託しておりません。直接当学会へお問い合わせください。